

## 「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

### 女子 × 階級社会

『女子の国はいつも内戦』  
辛酸なめ子/著 河出書房新社

「女子の世界は、今も昔も格差社会…」中学校の女子社会は厳しい。どこのグループに属するかによって学生生活が左右されてしまう。じゃあ、どんなグループに入ればいいの?入り方は?そんな疑問を解決してくれる本書。さらにそんな日本の女子中学生の世界がどのように見えるのか。帰国子女、男子のインタビューから探ります。女子が読むと思わずうなずいてしまう内容。女子の世界の怖さが垣間見えます。(大塚)

第33回



原作『バスカヴィル家の犬』  
コナン・ドイル/著 東京創元社

映画「バスカヴィル家の犬」  
ピーター・カッシング、  
アンドレ・モレル/出演

### NDCを知って図書館を有効活用!

「一か八か」ということわざがあります。「結果がどう出るかは分からぬが、運を天に任せてやってみよ」と似ている気がします。知らないことも困らないけれど、知っていることで世界が一段深く広がってゆく…。そんな楽しさに気付かせてくれたのがこの本です。私達が普段目にしている文字(活字)には、こんなにたくさんの種類があるということ、そしてその違いが生み出され、使われることには、たくさんの人の意志が関わっているということ、そんな当たり前のことを改めて見つめる、味わい深い冊です。(丸山)

クイズにこたえて、図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい: お正月に食べる料理の名前は?

① おさち ② おせち ③ おせさ

こたえ: \_\_\_\_\_



原作本から入っても良し、映画から入っても良し。

ホーミズは、ダートムーラの名門バスクヴィル家の主治医から当主を守るために依頼されます。しかしホーミズはロンドンを離れることができず、ワトソンがダートムーラへ赴き、詳細をホーミズへと連絡します。果たして二人は何者かに狙われている当主を守り切れるのでしょうか?

スタッフがホラーを手掛けていた人たちなので、犬が登場するシーン等、恐怖が煽られるシーンが見どころです。(大塚)

次回は『プレイブストーリー』です。



Vol.4

『ノーベル平和賞で世の中がわかる』  
池上彰/編著 マガジンハウス

館長が紹介する  
「印象に残った一文」とは?

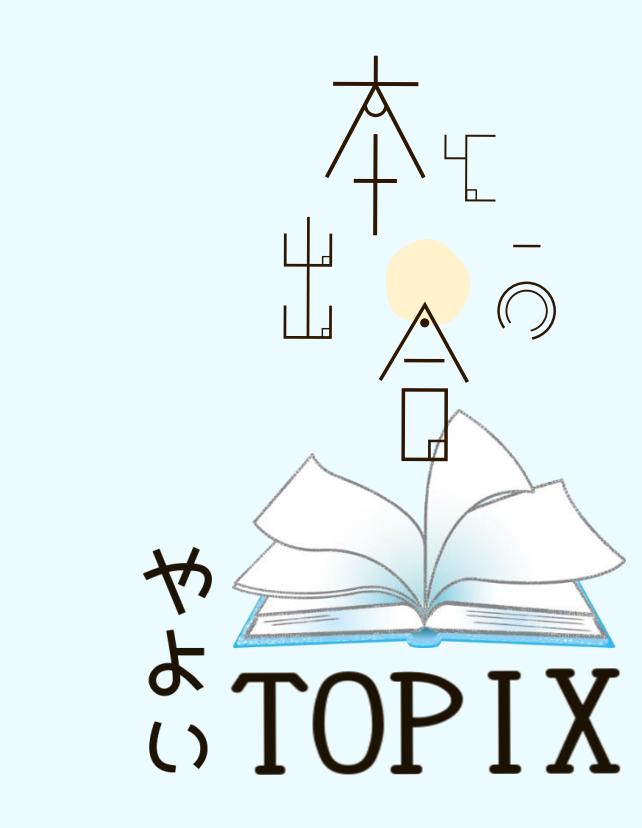


『文字の食卓』  
正木香子/著 本の雑誌社



「もしかしたら、文字は、同じ時代を生きている誰かがつくるものだとも思わなかつかもしれない。」

『ジヨツキ』  
松樹剛史/著 集英社



書体の名前を知る、というのは、道端に生えている雑草の名前を知ることに似ている気がします。知らないことも困らないけれど、知っていることで世界が一段深く広がってゆく…。そんな楽しさに気付かせてくれたのがこの本です。私達が普段目にしている文字(活字)には、こんなにたくさんの種類があるということ、そしてその違いが生み出され、使われることには、たくさんの人の意志が関わっているということ、そんな当たり前のことを改めて見つめる、味わい深い冊です。(丸山)

記念日から見つける、とっておきの一冊。



こんな本もありますよ

『村山聖名局譜』  
羽生善治/著 日本将棋連盟

『たたかう話』  
松田哲夫/編 あすなろ書房

腕は良いが訳あって騎乗機会の少ないフリー騎手が主人公。そんな彼と、個性豊かな競走馬たちが織り成す競馬物語。先述した通りこのお話、登場人物も多彩で魅力的ですが、その人間に負けないくらい馬たちが個性豊かで愛着が湧きます。そして馬たちを成長させる主人公の描写が爽快です。競馬を知らない人も読める、テンポの良い作品です。(竹原)

「一か八か」ということわざがあります。「結果がどう出るかは分からぬが、運を天に任せてやってみよ」という意味で、賭け事や勝負事の際によく使われることわざです。この言葉にちなんで1月8日は「勝負の日」。ということで、今回は勝負にまつわる本を紹介します。

「一か八か」ということわざがあります。